

日本史A

NO.02

○金解禁と世界恐慌（その3）

(3)昭和恐慌（その2）

(≒農業恐慌)

続出した代表的**惨状**は以下の二つ。

欠食児童 …学校に**昼食**を持参しない児童。

女子(=娘)の身売り …親が年頃の娘を**売春施設**に売り渡した。

○金解禁と世界恐慌（その4）

*1920年以降、**恐慌の連続**であった。

戦後恐慌、1920年

震災恐慌、1923年

金融恐慌、1927年

(世界恐慌、1929年)

昭和恐慌(≒農業恐慌)、1930年

2 政党内閣期の内政と外交

466人中8人 って多い？ 少ない？

○第1回普通選挙と積極外交への転換

(1)社会主義運動

*1925年の日ソ基本条約締結、そして**普通選挙法**制定後、

社会主義運動は**高揚**し、

(無産政党)が注目を集めた。

↳**財産の無い**、労働者を代表する政党。社会主義的政党ではあるが、

「社会主義」政党を名乗ることがはばかられたため、使用された名称。

(労働農民党)結成、1926年

中心者は**杉山元治郎**(…**日本農民組合**も創設している、1922年)。

しかし、同年、日本労農党と社会民衆党が**分裂・離脱**した。

(第1回普通選挙)

1928年、**実施**。

↳【←→制定は1925年】

無産政党が**議席**を獲得した。

労働農民党 + 日本労農党 + 社会民衆党。

合計、49万票を獲得し、**8人が当選**した。

当時は**非合法**であった(日本共産党)が、公然と**活動を開始**した。

【日本共産党が、~~議席を得た~~。 ←候補者を出していない】

○金解禁と世界恐慌（その2）

(2)(浜口雄幸)内閣

与党は(立憲民政党)…**憲政会と政友本党**が**合体**して結成された)。

【立憲民政党が与党…浜口雄幸内閣 & 第2次若槻礼次郎内閣の2度のみ】

大蔵大臣は(井上準之助)。

浜口雄幸内閣の**三大目標**は、以下①~③の3点であった。

①**財政緊縮**(=緊縮財政)

諸経費を削減し、(デフレ政策)を展開して

物価を引き下げようとした。

←相次ぐ**恐慌対策**としての**紙幣増刷**により、**インフレ**がおきていた。

②(産業合理化)

(国際)競争力のない**中小企業を整理**して、**大企業**に生産を**集中**へ。

(重要産業統制法)、1931年

②の**産業合理化政策**の一環。

重要産業であった紡績・鉄鋼業界での**価格カルテル**を

↳企業間での**販売価格**の協定。

法的に**承認**し、**値下げ競争**をさせないようにした(≒共倒れを防いだ)。

[現在の法律(=独占禁止法)では、**禁止**されている]

→いくつかの**大企業**が、一つの産業分野を**独占**的に**支配**する

傾向が強まる(≒政府と**独占資本**との**結合**が強まる)。

③(金解禁 = **金輸出解禁**)、1930年

1917年以降、**金は輸出禁止**であった。

しかし、**為替相場の安定**、**輸出増大**を図るため、

金輸出の解禁を行った。

(=輸入品の支払いの際、**金**での国際間**支払い**が可能となった)

【=(金本位制)に**復帰**した】

But →**世界恐慌**により**大打撃**を受ける。

(3)(昭和恐慌)、1930~1934年

世界恐慌(…1929年)、金解禁失敗(…1930年)などによる恐慌。

(農業恐慌)…農業部門における昭和恐慌をさす。

【世界恐慌により、**米国への生糸輸出は激減**し、**繭価は下落**。】

翌年、**豊作**により**米価**が**下落**した。

更に翌年、**凶作**となり、(東北)地方**農村困窮**が深刻化した。